

横綱級の大きさと甘さ！奇跡の梨「幻の恵水」の栽培に挑戦するプロジェクト
『幻の恵水プロジェクト』の応援団長に二所ノ関親方が就任
プロジェクトに挑む県内の梨生産者を訪問して「幻の恵水」の栽培成功を祈念

茨城県と茨城県梨組合連合会（草間勝美会長）は、茨城県オリジナル品種の梨「恵水」のトップブランド化を目指すべく、「幻の恵水」（重さ1kg以上、糖度14度以上、外観が優れるもの）の栽培に挑戦する『幻の恵水プロジェクト』を、今秋の収穫を目標として始動させました。

本プロジェクトの始動にあたり、応援団長に就任いただいた茨城県出身の二所ノ関親方（元横綱稀勢の里）が、「幻の恵水」の栽培に挑戦する県内の梨農園を6月16日に訪問し、生産者を激励するとともに、プロジェクトの成功を祈念しました。



『幻の恵水プロジェクト』応援団長に就任した二所ノ関親方（写真中央右）と「幻の恵水」の栽培に挑戦する梨生産者の草間勝美さん（写真中央左）ら

「幻の恵水」の栽培に挑戦する草間勝美さんの梨農園を訪問した二所ノ関親方は、『幻の恵水プロジェクト』に対する生産者の意気込みなどに耳を傾けつつ、6月に県内に開所した「二所ノ関部屋」の部屋開きをひきあいに、「これから、この茨城の地で、たくさんの関取、そして横綱、大関を育てるという夢に向かって頑張っています。育てるということは、なかなか思い通りにいかないことも多いですが、一緒に大きく育てていくことを頑張っていきましょう」とコメント。さらに、「幻の恵水」の栽培成功を祈念して生産者に「しめ縄」を贈呈するとともに、梨の摘果作業も行いました。



『幻の恵水プロジェクト』のシンボルツリーに取り付けられた「しめ縄」（左）と摘果作業を行う二所ノ関親方（右）

二所ノ関親方の『幻の恵水プロジェクト』応援団長の就任は、本プロジェクトに挑戦する梨生産者が、不屈の精神で相撲道に進んだ茨城が生んだ名横綱にあやかりたいと依頼したことに始まります。「水分は梨で摂る」と言い放つほどの無類の梨好きである親方とは、梨の差し入れなどを通じて交流を続けてきた縁もあり、応援団長就任につながりました。

■二所ノ関親方のコメント

「自分は現役中から梨をたくさん食べていましたね。稽古終わりになにか甘いものを食べたいときには、いばらきの梨は最高の果物です。自分のなかでは『梨といえば、いばらき』ですが、全国的にはあまり知られていないと感じているので、いばらきの梨好きとしてもっともっとPRしていきたいですね」

■草間さんのコメント

「親方に、いばらきの梨をおいしく食べてもらうことが最高のPRになるので、私も大玉の幻の恵水を育てて、部屋に差し入れに行きますので頑張ってください」



■『幻の恵水プロジェクト』について

大玉で糖度が高いことが特徴の茨城県オリジナル品種の梨「恵水」。今般、「恵水」の品質の高さを広くPRするため、茨城県と県内の梨産地が一丸となり、「幻の恵水」の栽培に挑戦します。「幻の恵水」は重さ1kg以上、糖度14度以上、外観が優れる「恵水」であり、1万果に1果と言われるほど希少性が高いことから、奇跡の梨とも言われています。

今秋に「幻の恵水」が無事に収穫できた際には、都内高級果実店において『幻の恵水』の名称での販売を予定しています。



■『幻の恵水プロジェクト』に挑戦する県内の生産者

県内の梨生産者（八千代町、下妻市、筑西市、石岡市）4名が、「幻の恵水」の栽培に挑戦します。

■『幻の恵水プロジェクト』をご紹介します

茨城県WEBサイト「茨城をたべよう」にて本プロジェクトを特集予定です。

「茨城をたべよう」 いばらき食と農のポータルサイト

<https://www.ibaraki-shokusai.net/>

■広報素材（写真・動画）について

本件に関する広報写真および動画素材（簡易撮影）*をご用意しております。

広報素材のご要望は、下記の「茨城県広報事務局」までお問合せください。

*映像・音声を使用される場合は、お手数ではございますが各社において日本相撲協会広報部へ申請をお願いします。

本件に関する報道関係者の方々からのお問合せ先
茨城県 営業戦略部 販売流通課 企画広報G 担当：中島、阿部
TEL：029-301-3945 FAX：029-301-3969
E-mail：hanryu4@pref.ibaraki.lg.jp

茨城県広報事務局 担当：東山
TEL：070-3266-6497 E-mail：ibaraki-pr@frontier-i.co.jp